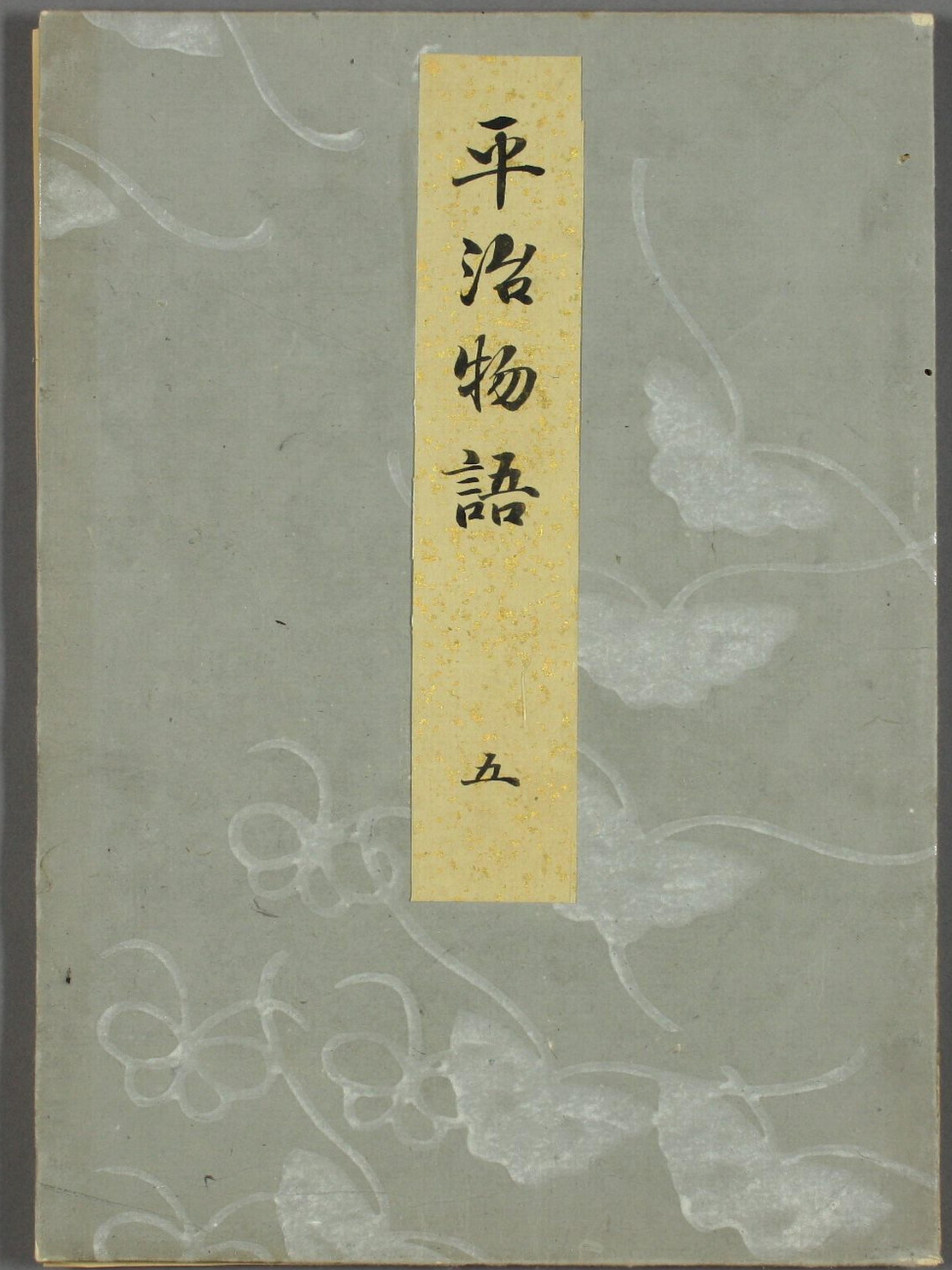


1 2
80 9 10
60 7 8 9 10
40 5 6 7 8 9 10
20 3 4 5 6 7 8 9 10
10 2 3 4 5 6 7 8 9 10
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

平治物語

五



平治物語卷第五回録

金玉丸尾張

長田

よの木本村大庭御正樹門

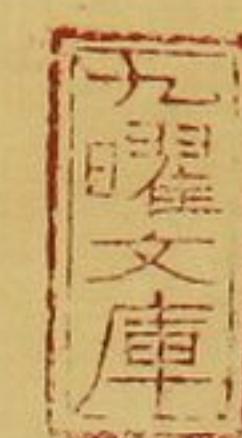
忠之尾川

西源太

清盛物語の事并歎

のうらとやく

吳越物語の事



東清也語卷第五

二二

金主たれつりてのりを
うつあきらめぬるや
うりやくのスミテ
モリモリ年貢二年より
より正月一日わく内
肉裏よひ元日
と天慶のとてゐ
朝鮮もとふ院も仁和寺にま
きもへられも

九
九

松風の音と山の波音とを聞かせ
まつ半付本と國を極むる日本
國の御内閣は、さす一院仁和寺廣
心の御内閣をめぐらとての三條並
に、やまと御内閣よりもとづくも
かくれい、八重陽河宣教の大臣あ
長門の高名を仰祈よりもりせ
まつて、日がの國のうち、在るの
爲めにしむる事あるを以て
よきものなるのをうそひまわる

蒙古紀傳

蒙古文

トシモトニテモアリ未産院の御室御平
五年二月よりとれめく御此
大セキ園を御山より東園と名セ
之よりの御山の山田の山野
にて平親王と御山野を
六年より天慶三年二月より
之の御山野と御山野を
蒙る事あら
右肩と日月を
うそと國をも

辛地うつりの
えむ

蒙古文

وَمَنْ يُعْلَمُ بِهِ فَأُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ

ムツルの

၁၇

卷之三

ك

人の死

不
之
予
也

蒙古文

ト二十の年と女日月
ト二十の年と女日月

蒙古文手稿

蒙古文

カムシムの事はあつてはゐる。今
まよちたるにあらうのうへり
リテテテテテテテテテテテテテテ
一所ありもあらぬと
の意のうへりやかひへり
すをんと下りてのつをと
跡すらいわふれの人の源氏
のうへりとくのむかと恩
情とゆふとくあはせを

カムシムの事はあつてはゐる。今
まよちたるにあらうのうへり
リテテテテテテテテテテテテテテ
十日のうへりとくのむかと恩
情とゆふとくあはせを
カムシムの事はあつてはゐる。
ゆゑにとよアセトヘ
カムシムの事はあつてはゐる。

ل

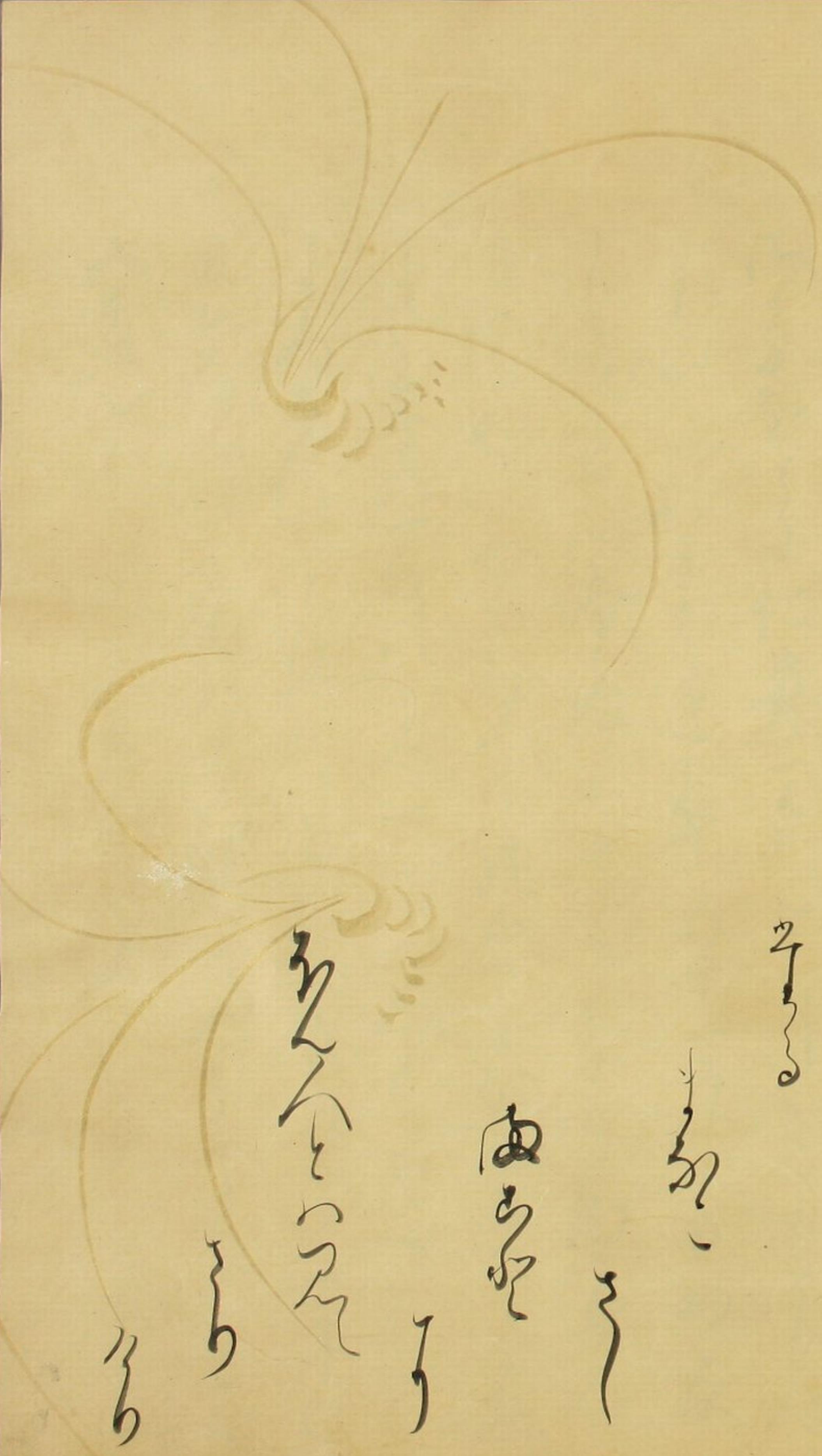
蒙古文

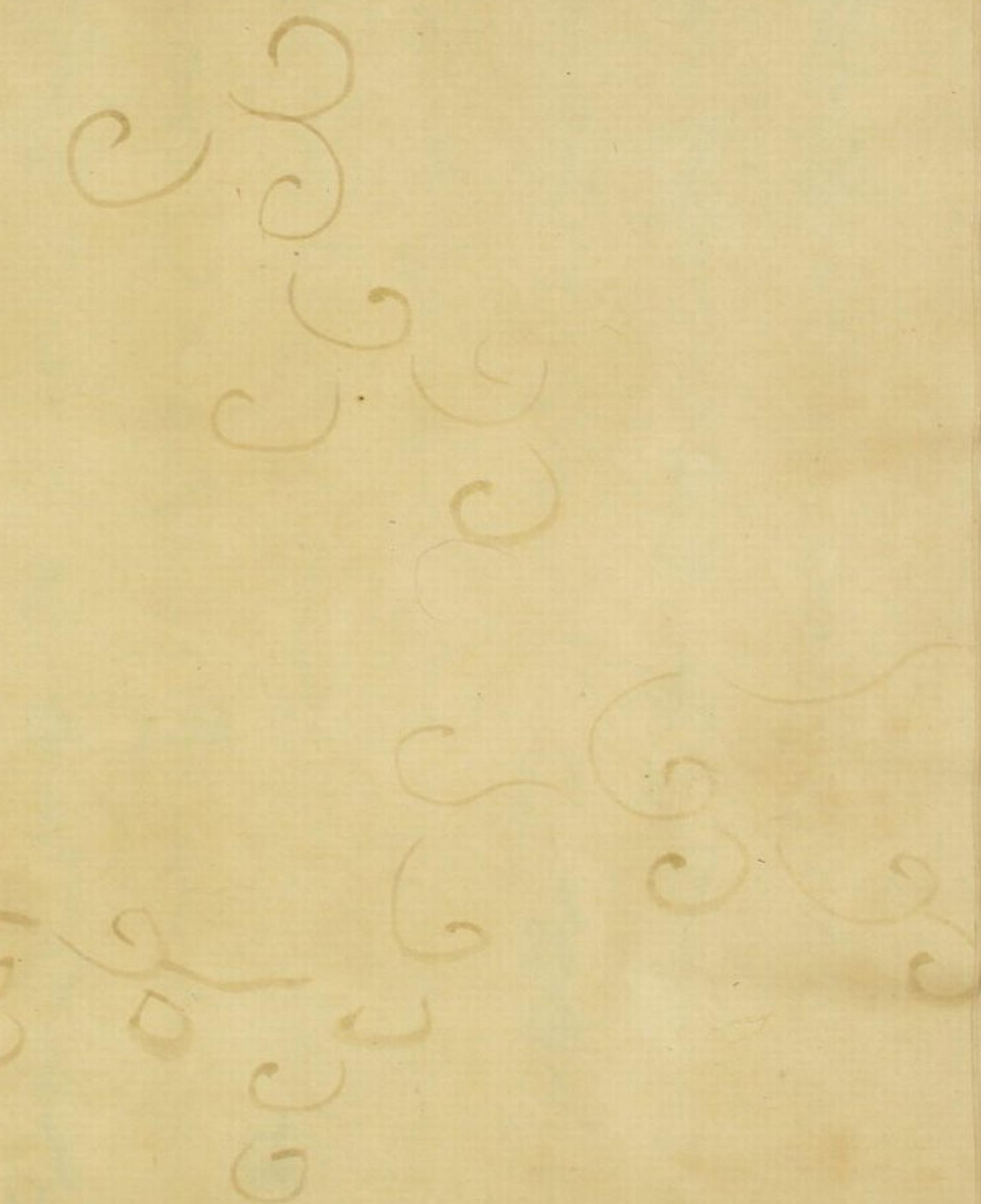
二

四
五

J

۲۷





清盛の妻千鶴とおの源氏

とくにてかくす

内侍御と仁安二年十一月より
もいはれのと年を一とくもか家
し法名の清盛とよまむか家乃
ゆくやくとくとくとくとくとくとく
とく年を夏れとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

蒙古文手稿

蒙古文手稿

アラタニ
アラタニ
アラタニ

十九年十一月
壬午日
金鑄作
年壬午
永元年
月廿二日

之
外
不
可
以
不
知

鞠
躬
事
行
中
國

蒙古文

蒙古文手稿

蒙古文

アラタモト
トモエ

蒙古文手稿

蒙古文手稿

五
十
九

五
十
九

五
十
九

鞠躬をあらわすやうな書付墨蹟の

ものアリ

乃ちかくは共宿乃とおといましむが
波の方と國引とてよしもとらやすとれ
まよひとくとくとくとくとくとくとくとく
まよひとくとくとくとくとくとくとくとく
まよひとくとくとくとくとくとくとくとく
まよひとくとくとくとくとくとくとくとく
僧がしるやうりふ文部のはせば
やまとゆきひのうへ河さくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
かうひのかのくのくのくのくのくのくの
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

蒙古文手稿

村井敏乃 沢の草

空とよりてましりありま黒とし
をうへ地にあつてうらはせむ
十萬騎足の二十萬騎あり少くもつむ
大よてうす又春方の脇の門
ちやめうきながれのほの時
まひのとまつてととととと
まひのうりせいりと
らる男人あとの敵國の
ひそやの内伍の書へらすを
かくよみへりまく
のすととの不くと
えぞのあくよ天をつす軍の
てのくよおひのてのくよと
の天下のへりれどアモアキ
のへりへり

あきえのうきり伍ふ書うかんの
ひゆみかとひとひとひとひと
ちくにうりうりうりうりうり
うとうよそよそよそよそよそ
そそわくわくわくわくわく
ゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆ
こく城く城く城く城く城
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく
ト
あきえのうきり伍ふ書うかんの
ひゆみかとひとひとひとひと
ちくにうりうりうりうりうり
うとうよそよそよそよそよそ
そそわくわくわくわくわく
ゆよゆよゆよゆよゆよゆよゆ
こく城く城く城く城く城
くくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくく

いと國の人々とあゆまことある
くとしのまゝこの君と
おもかげのまゝのやうと
おもかげのまゝのゆきつゝくと
おもかげのまゝのゆきつゝくと
あさりとあさりとあさりと
あさりとあさりとあさりと

うらやま

うらやま
うらやま
うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

うらやま

